

トピックス調査レポート

Vol. 7

令和5年のおこづかい事情

1ヶ月平均は小学生1,337円、中学生2,777円。
3割弱が、合計いくらもらっているか「わからない」。

日本では来年、20年ぶりに新しい紙幣が登場します。一方では現金を介在しない、色々な決済方法も増えてきました。こうした環境下で、今の子どもたちにとって「お金」とはいったい、どのような存在なのでしょう。

おこづかいのもらい方や金額、使いみち、満足度、足りない時の対処法、またお金に対する価値観や考え方など、今回は「お金」について、詳しく聞いています。

博報堂教育財団こども研究所は、全国の小4～中3男女600人を対象に、子どもをとりまくさまざまなトピックスについて調査しています。「子ども」「ことば」「教育」などに関するトピックスについて、子どもたち自身がどう感じ、考えているのかを明らかにすることを目的としています。

1 おこづかいのもらい方は「欲しいものがある時/必要な時」「定額」が各5割。主流は現金。

- 「もらっている」が88.5%。もらう機会は「欲しいものがある時や必要な時に」と「毎週または毎月など決まったタイミングで決まった金額を」が各5割ほど。
- 小学生より中学生が定額率が高くなり、中でも中学生女子は定額制が63.6%かつ、「テストの点や成績がよかった時」が30.7%と他の層よりも高くなりました。
- 1ヶ月のおこづかいの平均額は、小学生（4～6年）1,337円、中学生が2,777円。
- おこづかいをもらっている4人に1人は「どのくらいもらっているかわからない」と回答。合計額が「わからない」とした人の8割が「欲しいものがある時や必要な時にもらっている」と回答しました。
- もらい方は「現金のみ」が全体の9割。「現金」と「電子マネー」や「決済アプリ」へのチャージの組み合わせも、全体の6%ほど。特に中学生男子の場合、「現金のみではないもらい方」が1割を占めました。

2 8割近くが金額に満足。足りないときは「我慢する」か「貯金を崩す」。

- おこづかいの満足度は77.0%。（「とても満足」・「まあ満足」計）
- 属性別では、小学生女子の満足度が82.2%と高く、逆に中学生男子は「満足していない」が29.4%と他よりやや高くなりました。
- おこづかいが足りない時の対処法は、「次のおこづかいまで我慢して節約」「貯めておいたおこづかいやお年玉などのお金を使う」などが多く、そもそも「足りないことはない」は、8.1%でした。

3 使いみちのダントツは「おかしやジュース」。中学生女子は使いみちが多岐に。

- おこづかいの使いみちとして最も高かったのは「おかしやジュースなどを買う」で、全体の6割。
- 次いで、「本やマンガを買う」38.0%、「文房具や学用品を買う」27.3%、「ゲームソフトを買う」22.8%。
- 今後増やしたい使いみちは「外でお茶したりごはん」「ショッピングモールや複合施設」「映画やコンサートなどのチケット」など。
- 中学生女子はおこづかいの使いみちが非常に多岐にわたっており、10位の項目でもスコアが27%を超えています。

4 「お金持ちになりたい」が半数。4割弱が「お金の勉強」に関心あり。

- お金に対する意識を聞いたところ半数が「将来、お金持ちになりたい」と回答し、「お金持ちにならなくても、普通の暮らしができればいい」16.5%を大きく上回りました。
- 「子どもだってお金の勉強をしたほうがいい」は全体の4割弱。
- 「お金はなるべく節約したい」36.2%、「よく考えてから欲しいものを買う」34.8%など、堅実な気質がうかがえます。

5 いくらでもお金があったとしたら…今使っているものに惜しみなくかけたい！

- 自由回答を大まかに分類すると、「自分のため」「家族のため」「世のため・人のため」「将来のため」と4つにわかれしました。
- 「いくらでもお金があったとしたら…」という問いに対し、使いみちは現在の延長で、ゲーム関連や、本やマンガ、お菓子、洋服などに好きなだけ使うという日常的な範囲にとどまっている人がほとんどでしたが、少数ながら「家族のために家を買う」「ディズニーランドを貸し切り」などスケールの大きい回答もありました。
- 世の中や他者のため、社会貢献したいという声も少数ながら出ていた他、未来への備えとして「貯金」「投資」との声もあがりました。

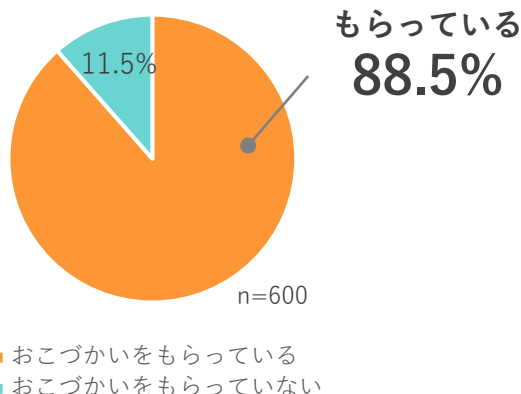
1

もらい方は「欲しいものがある時/必要な時」「定額」が各5割。主流は現金。

- 「もらっている」が全体の88.5%。もらい方は「欲しいものがある時や必要な時に」と「毎週または毎月など決まったタイミングで決まった金額を」がそれぞれ5割ほど。
- 「お手伝いをした時」は小学生男子で38.9%と高くなりました。
- 小学生より中学生が定額率が高くなり、中でも中学生女子は定額制が63.6%かつ、「テストの点や成績がよかった時」が30.7%と他の層よりも高いです。

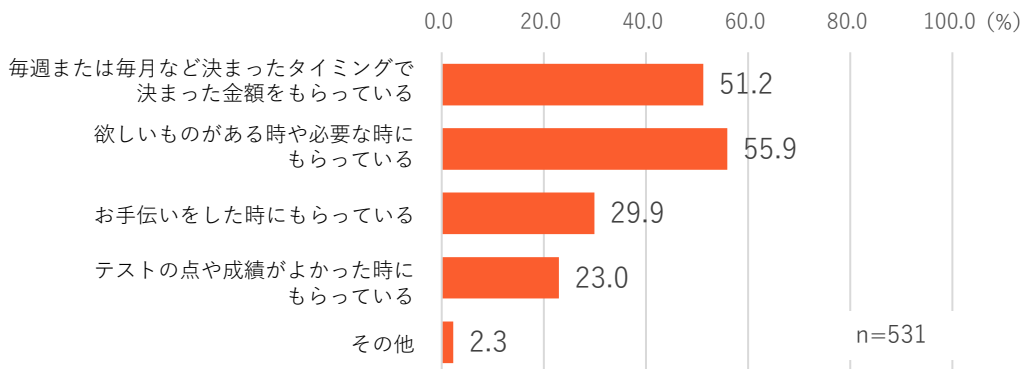
Q. あなたは、おこづかいをもらっていますか。

■ 全体



Q. (おこづかいをもらっている子どものみ) どのような形でおこづかいをもらっていますか。(複数回答)

■ 全体



■ 属性別

	毎週または毎月など決まったタイミングで決まった金額をもらっている	欲しいものがある時や必要な時にもらっている	お手伝いをした時にもらっている	テストの点や成績がよかった時にもらっている	その他
全体(531人)	51.2	55.9	29.9	23.0	2.3
小学生男子 (126人)	40.5	52.4	38.9	19.0	4.8
小学生女子 (129人)	43.4	60.5	33.3	25.6	3.1
中学生男子 (136人)	55.9	54.4	23.5	16.2	0.0
中学生女子 (140人)	63.6	56.4	25.0	30.7	1.4

■ 全体と比較して+10pt以上の値 ■ 全体と比較して-5pt以上の値
■ 全体と比較して+5pt以上の値 ■ 全体と比較して-10pt以上の値

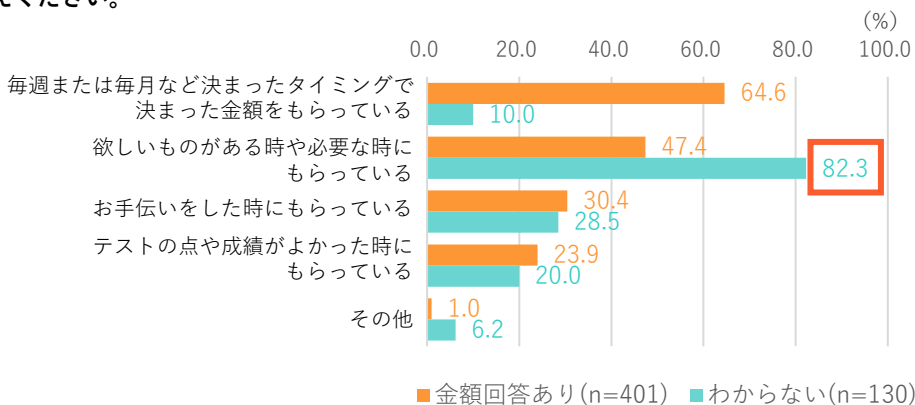
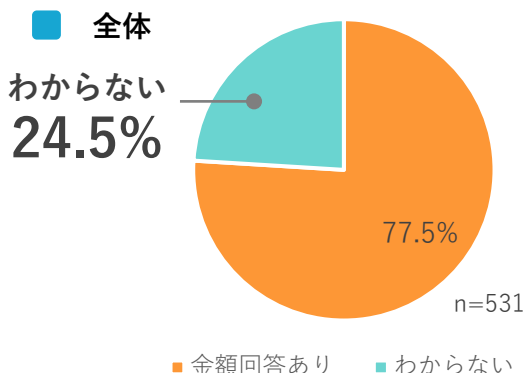
1

もらい方は「欲しいものがある時/必要な時」「定額」が各5割。主流は現金。

- 1ヶ月のおこづかいの平均額は、小学生（4-6年）1,337円、中学生が2,777円。
- おこづかいをもらっている531人のうち、4人に1人はどのくらいもらっているのか「わからない」と回答。そのうち8割が「欲しいものがある時や必要な時にもらっている」でした。
- もらい方では「現金のみ」が全体の9割超。「現金」と「電子マネー・決済アプリへのチャージ」の組み合わせや、現金なしの「電子マネーやチャージ」のみのケースも、あわせて全体の7%ほど見られます。
- 中学生男子の場合、「現金のみではないもらい方」が1割を占めました。

Q. (おこづかいをもらっている子どものみ) おこづかいは、1ヶ月に合計でいくらもらっていますか。わからない場合は「わからない」とお答えください。

Q. (おこづかいをもらっている子どものみ) どのような形でおこづかいをもらっていますか。(複数回答)



■ 全体・属性別 (金額回答者)

平均額

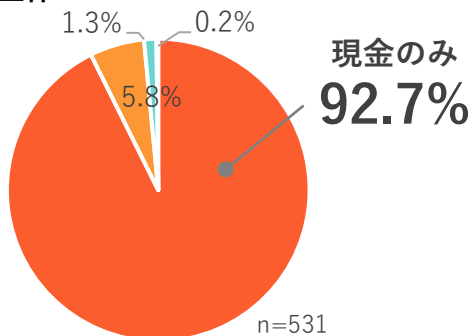
小学生（4-6年）：1,337円 中学生：2,777円

	500円未満	500円以上 ~1,000円未満	1,000円以上 ~2,000円未満	2,000円以上 ~3,000円未満	3,000円以上 ~4,000円未満	4,000円以上 ~5,000円未満	5,000円以上 ~6,000円未満	6000円以上
全体(401人)	3.0	19.5	32.4	14.7	17.2	1.7	8.2	3.2
小学生(185人)	5.9	37.8	36.2	5.9	8.1	1.1	3.2	1.6
中学生(216人)	0.5	3.7	29.2	22.2	25.0	2.3	12.5	4.6

■ 全体と比較して+10pt以上の値 ■ 全体と比較して+5pt以上の値
 ■ 全体と比較して-5pt以上の値 ■ 全体と比較して-10pt以上の値

Q. (おこづかいをもらっている子どものみ) おこづかいはどのような形でもらっていますか。

■ 全体



■ 属性別

	現金のみ	現金と電子マネーや決済アプリへのチャージ	すべて電子マネーや決済アプリへのチャージ	その他
全体(531人)	92.7	5.8	1.3	0.2
小学生男子(126人)	92.9	5.6	0.8	0.8
小学生女子(129人)	94.6	4.7	0.8	0.0
中学生男子(136人)	89.7	8.1	2.2	0.0
中学生女子(140人)	93.6	5.0	1.4	0.0

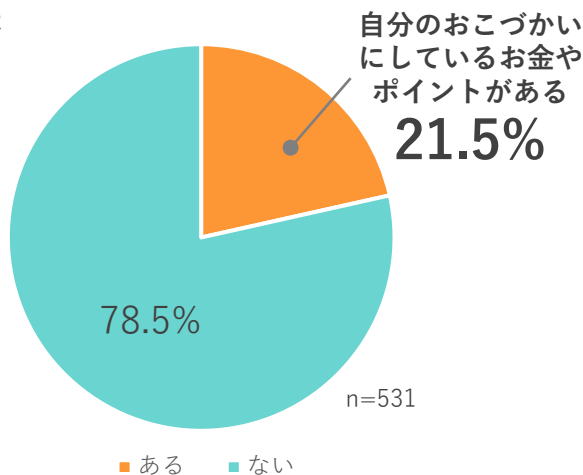
【参考】「ポイ活」しているのは全体の2割。

*ポイ活とは、ポイントをためたり、たまったポイントを活用したりすること。

- おこづかい以外の「収入源」としてポイントを活用しているのは2割。
- 中学生男子は、ポイントサイトの利用（12.5%）が最も高くなりました。

Q. （おこづかいをもらっている子どものみ）家族や親せきからもらうおこづかいのほかに、自分のおこづかいにしているお金やポイントはありますか。 ※保護者の同意のもとに行った場合に限りです。

■ 全体



■ 属性別

	ある	ない
全体(531人)	21.5	78.5
小学生男子(126人)	19.0	81.0
小学生女子(129人)	15.5	84.5
中学生男子(136人)	25.7	74.3
中学生女子(140人)	25.0	75.0

■ 全体・属性別

全体の値で降順

	買い物をしたときにもらえるポイントやスタンプをためる	LINEやアプリなどで表示される広告をみてポイントをためる	ポイントサイトでポイントを集める	メルカリなどフリマアプリで売る	アンケートに答えてポイントなどをもらう	YouTubeに動画を投稿・配信する	LINEスタンプを作って売る	その他
全体(531人)	8.7	7.5	7.2	4.9	4.9	1.9	1.7	0.8
小学生男子(126人)	7.1	5.6	4.0	2.4	4.0	1.6	2.4	2.4
小学生女子(129人)	9.3	5.4	5.4	3.1	3.1	0.8	1.6	0.0
中学生男子(136人)	8.1	8.1	12.5	6.6	7.4	2.9	0.7	0.0
中学生女子(140人)	10.0	10.7	6.4	7.1	5.0	2.1	2.1	0.7

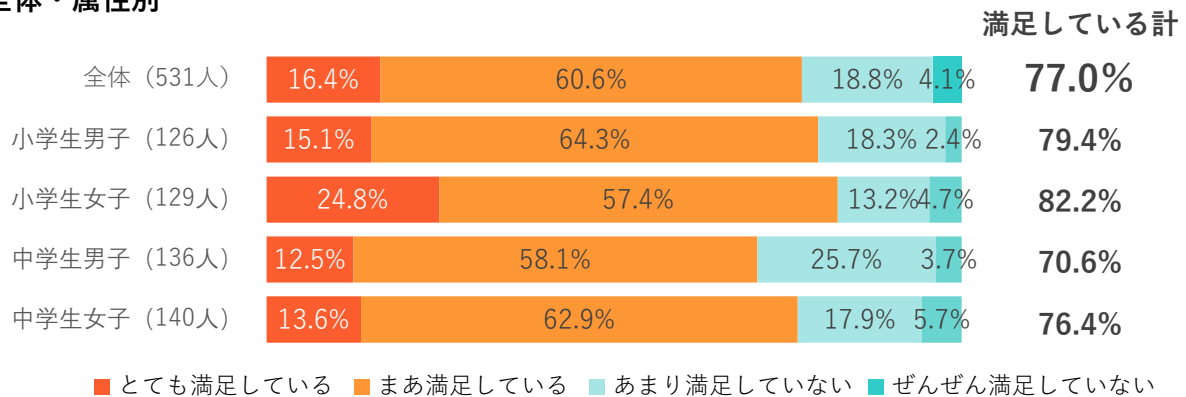
8割近くが金額に満足。

足りないときは我慢するか、貯金を崩す。

- 全体では「とても満足」が16.4%。「まあ満足」60.6%と合わせ、77.0%が満足と回答。
- 属性別では小学生女子の満足度が82.2%と高く、逆に中学生男子は「満足していない」が29.4%と他よりやや多くなっています。
- おこづかいが足りない時の対処法としては、「次のおこづかいまで我慢して節約」と、「貯めておいたおこづかいやお年玉などのお金を使う」などが多く挙がりました。そもそも「足りないことはない」は8.1%でした。
- 属性別では、小学生男子で「お手伝い」38.1%、中学生女子で「おじいちゃんやおばあちゃんからもらう」23.6%などが目立ちます。

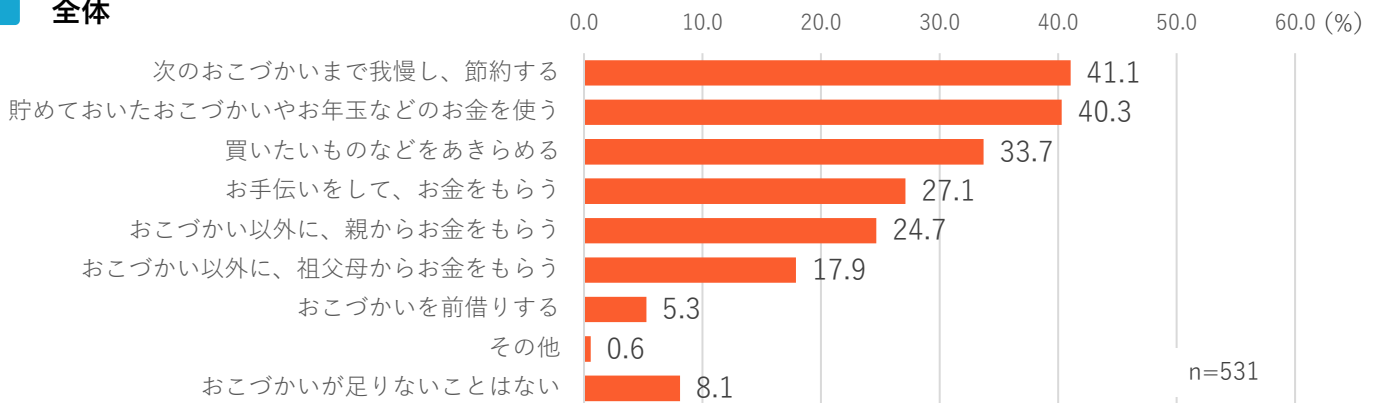
Q. (おこづかいをもらっている子どものみ) いまもらっているおこづかいに満足していますか。

■ 全体・属性別



Q. (おこづかいをもらっている子どものみ) おこづかいが足りないときはどうしていますか？

■ 全体



■ 全体・属性別

全体の値で降順

	次のおこづかいまで我慢し、節約する	貯めておいたおこづかいやお年玉などのお金を使う	買いたいものなどをあきらめる	お手伝いをして、お金をもらう	おこづかい以外に、親からお金をもらう	おこづかい以外に、祖父母からお金をもらう	おこづかいを前借りする	その他	おこづかいが足りないことはない
全体 (531人)	41.1	40.3	33.7	27.1	24.7	17.9	5.3	0.6	8.1
小学生男子 (126人)	41.3	41.3	35.7	38.1	22.2	17.5	4.0	0.8	7.1
小学生女子 (129人)	40.3	26.4	30.2	27.1	23.3	17.8	3.9	0.8	10.9
中学生男子 (136人)	36.0	46.3	36.0	20.6	24.3	12.5	4.4	0.0	8.8
中学生女子 (140人)	46.4	46.4	32.9	23.6	28.6	23.6	8.6	0.7	5.7

■ 全体と比較して+10pt以上の値
■ 全体と比較して+5pt以上の値

■ 全体と比較して-5pt以上の値
■ 全体と比較して-10pt以上の値

3

使いみちのダントツは「おかしやジュース」。

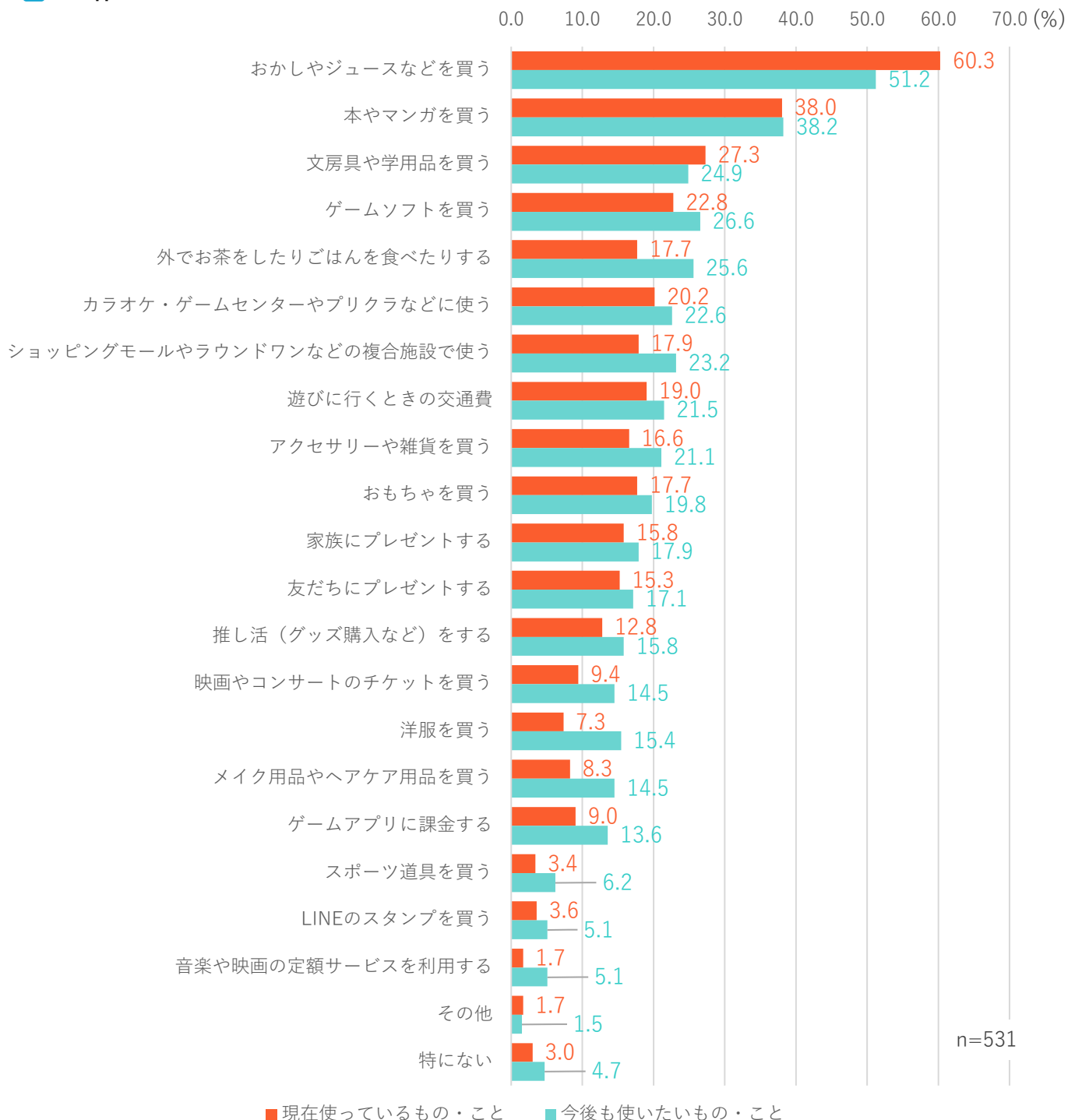
中学生女子は使いみちが多岐に。

- 全体でみると、使いみちとして最も高かったのは「おかしやジュースなどを買う」で6割。次いで本やマンガを買う」38.0%、「文房具や学用品を買う」27.3%、「ゲームソフトを買う」22.8%でした。
- 今後増やしたい使いみちは、「外でお茶したりごはん」 「ショッピングモールや複合施設」 「映画やコンサートなどのチケット」など、交際にあたるものが現状と比べて高い傾向が見られました。

Q. (おこづかいをもらっている子どものみ) どんなもの・ことに自分のおこづかいを使っていますか。今後(も)、どんなもの・ことに対しておこづかいを使いたいですか。(複数回答)

■ 全体

「現在使っているもの・こと」の値で降順



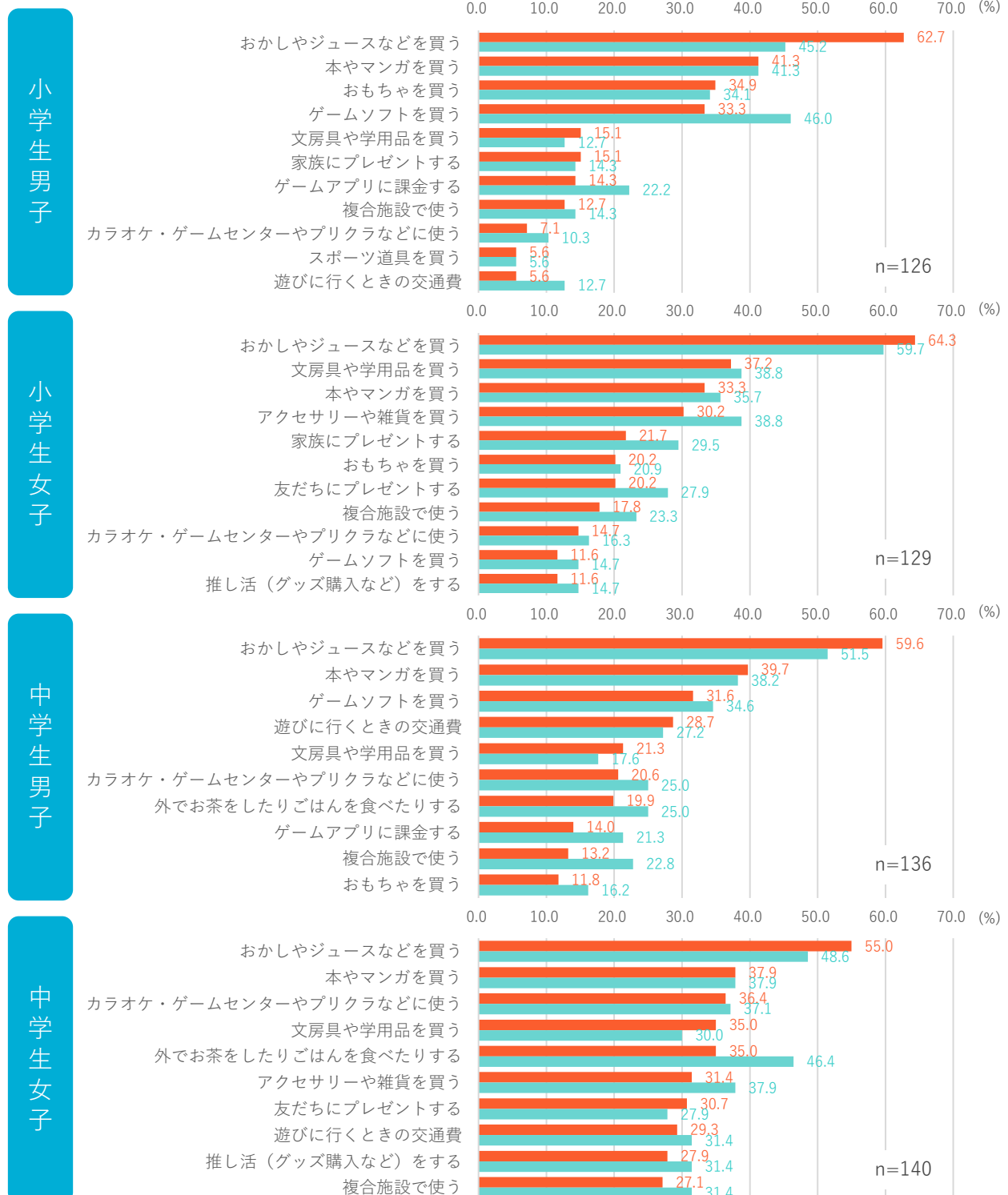
3

使いみちのダントツは「おかしやジュース」。中学生女子は使いみちが多岐に。

- 属性別では、まず目立つのが中学生女子のおこづかいの使いみちが非常に多岐にわたること。10位でも27%を超えています。
- 今後増やしたいものとして、現状より数値が高くなったのは、小学生男子では「ゲームソフト」「ゲームアプリ課金」、小学生女子では「アクセサリーや雑貨」「家族/友だちへのプレゼント」「ショッピングモールや複合施設の利用」、中学生男子では「外でお茶したりごはんを食べる」「ゲームアプリへの課金」「ショッピングモールや複合施設の利用」、中学生女子では「外でお茶したりごはんを食べる」「アクセサリーや雑貨を買う」などでした。

Q. (おこづかいをもらっている子どものみ) どんなもの・ことに自分のおこづかいを使っていますか。今後(も)、どんなもの・ことに対しておこづかいを使いたいですか。(複数回答)

■ 属性別(「現在使っているもの・こと」の上位10項目)



「お金持ちになりたい」子どもが半数。 4割弱が「お金の勉強」に関心を示した。

- 半数が「将来、お金持ちになりたい」と回答。「普通のくらしができればいい」16.5%のスコアを大きく上回りました。
- 「子どもだってお金の勉強をしたほうがいい」という意識は全体の4割と高い一方、「早く働いて自分で生活できるようになりたい」は19.3%、「人のためや社会のためにお金を使いたい」は7.7%と低くなりました。
- 「お金はなるべく節約したい」「よく考えてから欲しいものを買う」が、「新しいものをすぐほしくなる」や「思いつきで欲しいものを買う」と比較するとかなり高く、堅実な気質がうかがえます。
- 「お金より大事なものがある」は3割に満たない一方、「お金は命の次に大事」は1割程度に留まりました。
- 属性別では、お金持ち志向は女子より男子に強く、「友だちにお金を貸してはいけない」は特に中学生女子で高くなっています。中学生女子は他にも「節約したい」「よく考えてから欲しいものを買う」などの数値も突出しています。

Q. 次にあげるお金についての文章で、そう思うものをいくつか選んでください。

n=600

全体

お金意識

- 将来、お金持ちになりたい **50.8%**
- 将来、お金持ちにならなくても、普通のくらしができればいい **16.5%**
- 子どもだってお金の勉強をしたほうがいい **38.2%**
- 早く働いて自分で生活できるようになりたい **19.3%**
- 人のため、社会のためにお金を使いたい **7.7%**

購買意識

- お金はなるべく節約したい **36.2%**
- よく考えてから欲しいものを買う方だ **34.8%**
- 新しいものをすぐに欲しくなってしまう方だ **17.3%**
- 思いつきで欲しいものを買う方だ **11.2%**

お金に関する価値観

- お金より大事なものがある **26.2%**
- お金は命の次に大事なものだと思う **12.0%**
- 友だちにお金を貸してはいけない **51.8%**
- お金がありすぎると人間はダメになる **13.3%**
- 人前でお金の話をするのはよくないことだ **7.8%**

全体・属性別

	お金意識					購買意識				お金に関する価値観				
	将来、お金持ちになりたい	将来、お金持ちにならなくても、普通のくらしができればいい	子どもだってお金の勉強をしたほうがいい	早く働いて自分で生活できるようになりたい	人のため、社会のためにお金を使いたい	お金はなるべく節約したい	よく考えてから欲しいものを買う方だ	新しいものをすぐに欲しくなってしまう方だ	思いつきで欲しいものを買う方だ	お金より大事なものがある	お金は命の次に大事なものだと思う	友だちにお金を貸してはいけない	お金がありすぎると人間はダメになる	人前でお金の話をするのはよくないことだ
全体 (600人)	50.8	16.5	38.2	19.3	7.7	36.2	34.8	17.3	11.2	26.2	12.0	51.8	13.3	7.8
小学生男子 (150人)	56.0	12.0	38.7	16.7	9.3	32.7	28.7	18.0	9.3	28.0	11.3	50.7	14.7	9.3
小学生女子 (150人)	44.0	20.0	40.0	18.0	9.3	30.7	34.0	18.0	13.3	26.0	11.3	50.0	13.3	7.3
中学生男子 (150人)	54.7	13.3	36.0	22.0	5.3	36.0	34.0	18.7	12.0	20.7	16.0	44.0	14.7	7.3
中学生女子 (150人)	48.7	20.7	38.0	20.7	6.7	45.3	42.7	14.7	10.0	30.0	9.3	62.7	10.7	7.3

■ 全体と比較して+10pt以上の値

■ 全体と比較して+5pt以上の値

■ 全体と比較して-5pt以上の値

■ 全体と比較して-10pt以上の値

いくらでもお金があったとしたら… 今使っているものに惜しみなくかけたい！

- 自由回答を大まかに分類すると、「自分のため」「家族のため」「世のため・人のため」「将来のため」と4つにわかれしました。今の使い方の延長で、好きなだけほしい、気にせず使う、全部買う、の回答など、まずは自分が欲しいものが優先で、ゲーム関連を筆頭に、本やマンガ、お菓子、洋服を買いたいなど。他にも推し活やテーマパークなどが挙げられています。
- もう少し大きな出費では、家族のために家を買ったり旅行したりしたい、また世の中や他者のため、社会貢献したいという声も少数ながらありました。
- 未来への備えとして「貯金」と並んで、「投資」という回答も数名見られました。

Q.もしもいくらでもお金があったら、何に使いたいと思いますか。自由に書いてください。

思う存分ゲームしたい

- ・ ゲームセンターやり放題 (小4男子・北海道)
- ・ ゲームセンターでクレーンゲームをやりまくりたい (小5男子・京都府)
- ・ 今もゲームはしているし、ゲームセンターに行くときはこづかいをもらっているけど、親に遠慮するし、親の決めた金額しかもらえないから、自分で好きなように好きなだけ使ってゲームをしてみたい (中1男子・大阪府)
- ・ ゲームに課金したいです (中1女子・大阪府)
- ・ ゲームソフトを好きなだけ買う (中2男子・愛知県)

好きなだけ●●を買いたい

- ・ たくさんの本と、面白いものを買いたい (小5男子・青森県)
- ・ メイク用品をそろえたい (小5女子・宮崎県)
- ・ お菓子やジュースをたくさん買う (小6女子・埼玉県)
- ・ たくさん洋服買いたいから (中1女子・福岡県)

推しに使いたい

- ・ 好きなアイドルがいるので、そのグッズとかを買いきたいです。あとマンガを読むことが好きなので、全巻買ったりしたいです。 (小6女子・埼玉県)
- ・ 推しグッズ、欲しいもの全て買って、部屋いっぱい飾って、囲まれて生活する。 (中1女子・神奈川県)
- ・ 理想のアイドルグループを作る (中3女子・徳島県)

テーマパークで遊びたい

- ・ ディズニーランドに行きまくる (小4女子・石川県)
- ・ ユニバーサルに行きたい (中1男子・三重県)
- ・ 友達と一緒にアミューズメントパークなどへ遊びに行きたい (中3女子・東京都)
- ・ ディズニーランドを貸し切りしたい (中3女子・京都府)

家族に家や旅行をプレゼント

- ・ お父さんに会社をやめさせてあげる (小4女子・東京都)
- ・ 家を建て直したい。海外にバカンスに行きたい。ダイソンとルンバとゲームを買いたい。 (小6男子・京都府)
- ・ 家族旅行と親に好きなものをプレゼント (中3男子・神奈川県)
- ・ 両親に車をプレゼントする (中3男子・和歌山県)

世の中のために使いたい

- ・ みんなを喜ばせることに使いたい (小4男子・神奈川県)
- ・ きほんてきにいくらでもお金があることはないのだけれど、自分以外のことに使ってみたく思うことはある。戦争や飢饉などで恵まれない人びとは世界にたくさんいる。日本にいとあまり感じないけれども。いろいろと貢献できるようになりたい (中2女子・兵庫県)

投資する

- ・ 土地を買ってマンションを建てていろんな人にかす (小5男子・埼玉県)
- ・ 投資して増やしたい (小6女子・兵庫県)
- ・ 必要な時に必要な額換金できる投資商品 (中2男子・東京都)

貯金する

- ・ 買いたいものができたときのためにためておく (小4男子・愛知県)
- ・ 特にほしいものがないので貯金 (中2女子・岐阜県)

自分のため

家族のため

世のため、人のため

将来のため

編集後記

今回の結果では多くの子どもたちにとって、おこづかいの主な使いみちはお菓子やジュース、本やマンガ、といったものですが、中学生をみると、友だちとの交際費など使用用途の幅が広がっている状況が見えてきました。

一見すると子どもたちのお金の使い方にこれまでと大きな変化はないように思えます。しかしよく見ていくと、おこづかいの額が決まっている子どもの割合は全体の半数以下であり、ほしいものがあるとき、お手伝いをしたとき、成績がよかったとき等、おこづかいをもらうタイミングが複数にわたるからか、自分が1ヶ月に合計いくらもらっているのか「わからない」という回答も少なくありませんでした。

おこづかいへの満足度は全体的に高いものの、おこづかいが足りないときには「次のおこづかいまで我慢し節約する」や小学生男子では38.1%が「お手伝い」をするなど、子どもながらの工夫が見えます。また急速に普及している電子マネーの影響から、「お金＝現金（貨幣）」という意識が希薄になっているのではないかと考えていましたが、実際に聞いてみると主流はリアルマネーでした。それでも、中学生では1割以上が、電子マネーやQRコード/バーコード決済を使用していますし、買い物や広告表示によってたまるポイントをためている子どもも2割ほどいます。これからも徐々にこの傾向は進んでいくのでしょうか。

お金に関する意識では、半数がお金持ちになりたいと思う一方、早く働いて自分で生活できるようになりたいと考えるのは19.3%と自活の意識はもう少し先なのかもしれません。もしいくらでもお金があったら何に使う？という問いに対して「お父さんに会社をやめさせてあげる」という声があったのが印象的でした。お父さんが働いている様子や背中をみて、何を感じ取っていたんだろうと、その子の心情を想像します。「みんなを喜ばせるために使いたい」「土地を買ってマンションを建てていろんな人にかす」なども含め子どもたちの頼もしさが伝わってきました。今回のテーマは「お金」に関することでしたが子どもたちの回答から、お金への意識とともにいま暮らしている子どもたちひとりひとりの生活の情景に思いを馳せています。（研究員T）

調査概要

調査エリア

全国

調査対象

小4～中3 男女 600人

	男性	女性	(人) 計
小学4年生	50	50	100
小学5年生	50	50	100
小学6年生	50	50	100
中学1年生	50	50	100
中学2年生	50	50	100
中学3年生	50	50	100
合計	300	300	600

調査日

2023年7月2日

調査分析

公益財団法人博報堂教育財団 こども研究所

調査方法

インターネット調査

実施集計

株式会社H.M.マーケティングリサーチ

子どもの回答にあたっては、保護者の同意のもとで行っております。